

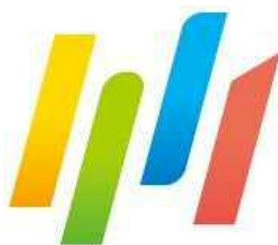
島根県企業局経営計画

(平成 28 年度～令和 7 年度)

中間見直し

概要版

令和 3 年 3 月



明日へつなぐ
クリーンなエネルギーとおいしい水

島根県企業局

計 画 の 目 次

第1 計画の基本的な考え方-----	1 頁
1. 計画策定の趣旨	
2. 計画の期間	
3. 計画の進捗状況	
4. 計画見直しの概要	
第2 経営方針-----	6 頁
1. 経営理念	
2. 基本方針	
第3 経営方針に基づく取組-----	7 頁
1. 電気事業	
2. 工業用水道事業	
3. 水道事業	
4. 宅地造成事業	
5. 個別的取組	
第4 計画の推進体制-----	15 頁
1. 計画の進行管理	
2. 計画達成状況の公表	
第5 投資・財政計画-----	16 頁
1. 電気事業	
2. 工業用水道事業	
3. 水道事業	
4. 宅地造成事業	



このロゴマークは
「工業用水道事業」「宅地造成事業」「水道事業」「電気事業」の
4つの事業を表しており、地域住民の福祉の向上、地域社会の
発展をイメージしています。

第1 計画の基本的な考え方

1. 計画策定の趣旨

第2次経営計画の計画期間が平成27年度末に終了することから、第2次計画の考え方を基本としつつ、企業局をとりまく情勢の変化や、新たな課題等にも対応し、所要の見直しを行なった第3次島根県企業局経営計画を平成28年3月に策定しました。

策定から5年が経過し、国における電力システム改革や水道法の改正、県においては、島根創生計画の策定、企業局においては、工業用水道・水道事業の「施設管理基本計画」「中期事業計画」の策定、市町村との共同工業団地整備などの新たな動きがあり、企業局を取り巻く状況も変化していることから、これまでの取り組みの状況も踏まえ、中間見直しを行いました。

2. 計画の期間

平成28年度（2016年度）から令和7年度（2025年度）までの10年間とします。

なお、今回、計画期間の前半の5年が経過することから実績を検証するとともに、令和3年度（2021年度）から令和7年度（2025年度）までの計画の見直しを行いました。

3. 計画の進捗状況

経営計画を着実に推進するため、事業毎に目標年次を掲げた成果指標（17項目）を設定し四半期毎に進捗管理を行っています。この4年間の取り組みの状況については次のとおりです。

【電気事業】

指 標		実 績					目 標 (達成年度)
		H28	H29	H30	R1	平均	(H28～R1平均)
発電所供給電力量 (MWh)	(水力)	120,797	118,626	70,331	41,398	87,788	74,963
	(風力)	29,723	35,386	30,890	29,320	31,330	33,834
	(太陽光)	4,562	8,186	9,091	9,219	7,765	6,993
	(合計)	155,082	162,198	110,312	79,937	126,882	115,790
CO2削減量 (トン)	(水力)	85,282	83,749	49,653	29,228	61,978	52,925
	(風力)	20,984	24,982	21,808	20,700	22,119	23,900
	(太陽光)	3,221	5,779	6,420	6,510	5,483	4,950
	(合計)	109,487	114,510	77,881	56,438	89,580	81,775

- ・水力については、効率的な運用に努めた結果、実績平均では目標を達成した。
なお、H30, R1実績が少ないのは、リニューアル工事による発電機停止や暖冬による降水量の減少によるもの。
- ・風力については、故障による発電機停止や冬期の風況が悪いこともあり、実績平均では目標を達成することができなかった。
- ・太陽光については、一年を通して天候に恵まれたこともあり実績平均では目標を達成した。
- ・CO2削減量については、上記供給電力量に比例している。

指 標		実 績					目 標 (達成年度)
		H28	H29	H30	R1	平均	(H28～R1平均)
発電施設故障停止 (時間)	(水力)	78	41	7	45	43	232
	(風力)	11,533	7,510	5,019	9,596	8,415	9,000
	(太陽光)	0	0	0	0	0	235

- ・水力については、日常点検や定期点検を確実に実施した結果、故障発生防止に繋がり、目標値を達成した。
- ・風力については、主軸（H28）やブレードの損傷（R1）の修理に時間を要したが、目標を達成した。
- ・太陽光については、適切な維持管理を行った結果、故障による停止はなかった。

【工業用水道事業】

指 標		実績				目 標 (達成年度)
		H28	H29	H30	R1	
工水売水率 (%)	(飯梨川)	59.0	58.6	58.6	57.6	60 (R7)
	(江の川)	53.4	53.4	54.7	58.8	56 (R7)
工水売水先数 (件)	(飯梨川)	30	29	29	28	34 (R7)
	(江の川)	3	3	3	4	4 (R7)

・飯梨川については、経営上の理由により廃業した企業が2社あり、売水率は下がった。
 ・江の川については、既存企業の増量や新規企業の進出があり、売水率は上昇している。

【水道事業】

指 標		実績				目 標 (達成年度)
		H28	H29	H30	R1	
浄水水質 (日)	(濁度0.1度以下)	0	0	0	0	0 (毎年)
	(色度2度以下)	0	0	1	0	
	(残留塩素) (0.1~0.5mg/L)	0	0	0	0	

・全体としては、適切な水質検査・監視を行うことにより、安全で良質な水道水の供給を保っている。
 ・H30年度については台風24号の影響により斐伊川の水質が悪化し、浄水色度が2.2度となり目標値を超過したが、水道法上の水質基準(5度以下)は下回っており、人の飲用には影響はない。

【工業用水道事業、水道事業】

指 標		実績				目 標 (達成年度)
		H28	H29	H30	R1	
給水制限日数 (日)	(工業用水)	0	0	1	0	0 (毎年)
	(水道)	0	0	0	0	

・H30年度の給水制限(1日)は、江の川7月豪雨により道路が冠水し、取水場の現場復旧に時間を要したため江津工業団地の受水企業へ給水制限の要請を行ったもの。
 ・その他、渇水や事故による給水制限はなかった。

指 標		実績				目 標 (達成年度)
		H28	H29	H30	R1	
一般管理費削減 (%)	(工業用水)	△0.2	61.5	25.2	61.5	H26年度比 △10%
	(水道)	△15.5	△13.8	△17.9	△17.5	

・水道事業では、事務費などの経費削減に努めた結果目標を達成している。
 ・工業用水道事業では営業活動など経費の増加により目標達成には至っていない。

【宅地造成事業】

指 標		実績				目 標 (達成年度)
		H28	H29	H30	R1	
工業団地分譲率 (%)	(江島)	96.5	96.5	100.0	100.0	100 (R7)
	(江津)	80.4	81.5	86.2	81.1	95 (R7)

・江島については、H28年度に2社、H30年度に2社へ分譲した結果、完売した。
 ・江津については、H29年度に1社、H30年度に3社へ分譲を行っている。
 ・R1年度は第二期造成により分譲地が増加したことから分譲率が低下した。

【個別的取組】

指 標	実績				目 標 (達成年度)
	H28	H29	H30	R1	
危機管理訓練回数 (回)	7	8	10	8	8 (毎年)
<ul style="list-style-type: none"> ダム放流や地震、送水管漏水や河川高濁度などを想定した危機管理訓練を目標回数行うことができた。 H28年度は当初予定されていた訓練が、悪天候により2回延期後に中止となったため、目標を達成することができなかった。 					

指 標	実績					目 標 (達成年度)
	H28	H29	H30	R1	累計	
技術資格取得数 (件)	7	13	30	31	81	80 (R7)
<ul style="list-style-type: none"> 「島根県企業局人材育成方針」に基づき業務に必要な資格について、支援を実施したこともあり、資格取得者数は目標を達成することができた。 						

指 標	実績				目 標 (達成年度)
	H28	H29	H30	R1	
ホームページアクセス数 (件)	12,341	16,808	16,165	15,954	15,000 (毎年)
<ul style="list-style-type: none"> H28年度の結果を踏まえ、施設見学や森づくり事業を実施した都度HPの内容を更新した結果、H29年度以降は目標値を超えるアクセス数となった。 					

指 標	実績				目 標 (達成年度)
	H28	H29	H30	R1	
施設見学・出前講座の参加者数 (人)	1,564	1,257	1,257	1,887	1,600 (毎年)
<ul style="list-style-type: none"> H28年度～H30年度はPR不足もあり目標を達成することは出来なかったが、R1年度は県内小学校や地元コミュニティセンター等チラシ配布の取り組みを強化した結果、目標を超える参加者数となった。 					

指 標	実績				目 標 (達成年度)
	H28	H29	H30	R1	
森づくり事業(植栽)箇所数 (箇所)	6	4	5	5	5 (毎年)
<ul style="list-style-type: none"> 企業局ホームページや関係機関の情報提供、過去に事業を行った団体へ参加継続のお願いなどの取り組みにより、ほぼ目標数の事業を行うことができています。 					

指 標	実績				目 標 (達成年度)
	H28	H29	H30	R1	
地域活動への参加件数 (件)	19	13	21	18	18 (毎年)
<ul style="list-style-type: none"> 河川清掃や交通安全街頭活動、地域で開催されるイベントに積極的に参加することにより、H29年度以外は目標を達成することができた。 					

行動計画に基づく主な取組状況

	行動計画	取組内容
電気事業	水力発電所のリニューアル	H28.9 八戸川第一発電所2号機リニューアル運転開始（出力1,500kW） H29.3 飯梨川第二発電所リニューアル運転開始（出力1,400kW） H31.4 三成発電所リニューアル運転開始（出力3,150kW）
	施設の適切な維持管理	H29.6 隠岐大峯山風力発電所3号機廃止（出力600kW） R2.10 隠岐大峯山風力発電所1、2号機 民間企業へ譲渡（出力1,200kW）
	小水力発電所の新規開発検討	R1.11 大長見発電所運転開始（出力199kW） R1.12 田井発電所運転開始（出力110kW） R2.9 山佐発電所運転開始（出力199kW）
	太陽光発電所の建設と保守管理体制の構築	H29.6 石見空港太陽光発電所運転開始（出力3,490kW）
工業用水道事業	施設の長寿命化に向けた基本計画の策定	H30.3 飯梨川工業用水道施設 施設管理基本計画・中期事業計画策定 R2.2 江の川工業用水道施設 施設管理基本計画・中期事業計画策定
	新規需要の開拓	H31.4 江の川工業用水道 工業団地進出企業へ供給開始（192m ³ /日）
水道事業	施設の長寿命化に向けた基本計画の策定	H31.4 島根県水道用水供給事業（飯梨川）施設管理基本計画策定 R2.2 島根県水道用水供給事業（飯梨川）中期事業計画策定 R2.2 江の川水道用水供給事業 施設管理基本計画・中期事業計画策定
	水安全計画の策定と実践	H29.10 島根県企業局 水安全計画策定
宅地造成事業	工業団地の分譲	H30.8 江島工業団地完売
	江津地域拠点工業団地の造成検討	H28.10 第二期造成工事を決定、工事着手
個別的取組	危機管理体制の強化	R1.6 島根県危機管理計画改正 R2.2 給水車配備（2,000L×1台）
	わかりやすい情報発信	R1.5 企業局通信発行開始 R2.4 企業局オリジナルホームページ開設
	施設周辺地域への対応	R1.10 飯梨川都市用水道事業50周年記念式典開催、施設見学会実施

4. 計画見直しの概要

見直しにあたっては、社会情勢の変化やこれまでの計画の進捗状況などを踏まえ、最新の状況に時点修正するとともに、今後5年間で取り組む内容について、成果指標の数値変更や新たな項目の追加を行いました。

主な見直しについては下記のとおりです。

(4 事業共通)

- ・投資・財政計画の見直し（令和3～7年度 計画数値を修正）
- ・成果指標項目の追加、目標値の修正

	項目の追加 (島根創生計画の重要業績指標：KPI 等)	目標値の修正 (R3～R7 目標値を修正)
電気事業		<ul style="list-style-type: none"> ・発電所供給電力量、CO2削減量 ※隠岐大峯山風力発電所譲渡、水力発電所リニューアル工事の最新工程を反映
工業用 水道事業	<ul style="list-style-type: none"> ・送水管の耐震化延長 ・送水管の耐震化率 	
水道事業	<ul style="list-style-type: none"> ・送水管の耐震化延長 ・送水管の耐震化率 	
宅地造成 事業	<ul style="list-style-type: none"> ・分譲面積 ・工業団地整備面積 	<ul style="list-style-type: none"> ・分譲率（江津地域拠点工業団地） 95%→87% ※第二期造成による分譲地増加のため

(水道事業)

- ・水道法改正の対応について内容追加

(宅地造成事業)

- ・県・市町村共同工業団地整備について内容追加

第2 経営方針

1. 経営理念

島根県企業局は、常に企業としての効率性を発揮し、県民生活に欠かすことのできない電気や水道水の供給、並びに地域経済発展に不可欠な工業用水の供給や工業団地の整備を通じて、地域住民の福祉の向上、地域社会の発展に寄与していきます。

2. 基本方針

(1) 顧客本位の経営

自然災害や事故に備えた危機管理体制の強化や、老朽化した施設や設備の計画的な更新・再整備、技術力の維持・向上に取り組むことにより、顧客の視点に立った質の高いサービスを適正な価格で安定的に提供します。

(2) 経営基盤の強化

施設や設備の更新・再整備、業務の一層の効率化やコスト削減、新規顧客の開拓などにより、経営基盤の強化に取り組みます。

(3) 環境の保全や地域への貢献

再生可能エネルギーの維持・拡大や、社会の一員として地域活動への参加を継続することにより、地球環境の保全や地域貢献に取り組みます。

(4) 信頼される公営企業経営

各事業の現状や経営状況についての的確に情報を提供し、県民に理解され、信頼される経営を行います。また、経営的な視点も含め、これからの企業局を支える幅広い視野を持った人材の育成に努めます。

第3 経営方針に基づく取組

1. 電気事業

【目指す方向】

これまで培った知識と経験を生かし、地域の資源である水力や風力、太陽光といった再生可能エネルギーを利用した発電の維持・拡大に取り組みます。

こうした取組により、地域におけるエネルギーの確保や安定供給に寄与していきます。

また、地域の活性化、二酸化炭素排出量の削減による地球環境の保全及び環境保全意識の啓発にも寄与していきます。

【目標】

- 1 電力の安定供給
- 2 地球環境への貢献
- 3 適正な利益の確保
- 4 地域社会への貢献

【行動計画】

- ① 水力発電所のリニューアル・・・目標1、目標2、目標3
 - ・今後も安定した発電が可能となるよう順次リニューアルを行います。
- ② 施設の適切な維持管理・・・目標1
 - ・日常点検や定期点検を行って設備の状況を常に把握するとともに、必要な修繕を適切に実施することで、異常の早期発見や事故・故障の防止、事故・故障発生時の迅速な復旧を図ります。
 - ・「施設管理基本計画」を策定し、発電施設の長寿命化に努めます。
- ③ 小水力発電所の新規開発検討・・・目標2
 - ・水力発電の新規開発に向けて、企業局の知識と経験を生かし、開発地点の調査、検討を行い、適地と判断される地点があれば、新規開発に取り組みます。
- ④ 小水力発電に係る技術支援・・・目標2、目標4
 - ・県内の市町村や集落営農組織等が取り組む小水力発電の新規開発等について、技術的な観点から助言や情報提供等を継続して行います。
- ⑤ 再生可能エネルギーの技術開発に向けた検討・・・目標2
 - ・先駆的な実証実験事業やモデル事業など、技術開発や地域の発展に資する事業を検討していきます。

⑥ 電力システム改革後の対応・・・目標3

- 電力システム改革に伴い、様々な制度変更が行われました。
今後も国の動向等を注視し、関係団体や他の公営電気事業者とも情報交換を密にしながら、適宜必要な対応を行います。

⑦ 利益の活用検討・・・目標4

- 水力発電所リニューアル後に見込まれる利益については、企業局における新規電源開発や既存発電所の整備等に充てるほか、一般会計における再生可能エネルギーの導入促進事業に活用していますが、県全体での地域振興に活用することも検討します。

⑧ FIT制度終了後の施設あり方検討・・・目標1、目標2

- 再生可能エネルギーの普及状況や市場の動向、脱炭素化等の社会情勢を踏まえて、FIT終了後における施設のあり方について検討を行います。

【取組の成果指標】

※表の見方 (上段)H28～R7当初計画値 (下段)H28～R1実績値、R2実績見込値、R3～R7新計画値

指標	これまでの実績 (実績期間)	目標 (達成年度)									
		H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
供給電力量 (MWh)	H28～R1 平均	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
	115,790	138,769	134,125	103,837	86,427	140,751	176,220	176,220	176,220	172,243	173,017
	126,882	155,082	162,198	110,312	79,937	104,061	139,071	139,346	172,724	175,912	175,912
	(水力発電)	100,174	91,935	62,576	45,166	99,490	134,959	134,959	134,959	133,087	134,351
	120,797	118,626	70,331	41,398	64,167	100,034	100,309	133,687	136,875	136,875	
	(風力発電)	34,298	34,298	33,369	33,369	33,369	33,369	33,369	33,369	31,264	30,774
29,723	35,386	30,890	29,320	31,160	30,774	30,774	30,774	30,774	30,774		
(太陽光発電)	4,297	7,892	7,892	7,892	7,892	7,892	7,892	7,892	7,892	7,892	
4,562	8,186	9,091	9,219	8,734	8,263	8,263	8,263	8,263	8,263		
(参考:世帯数)	(32,160)	(38,550)	(37,260)	(28,840)	(24,010)	(39,100)	(48,950)	(48,950)	(48,950)	(47,850)	(48,060)
	(35,250)	(43,080)	(45,060)	(30,640)	(22,200)	(28,910)	(44,570)	(44,660)	(55,360)	(56,380)	(56,380)

※H28～R7当初計画値(上段) 一世帯あたり電力消費量 = 3,600kWh/年

※R3～R7新計画値(下段) 一世帯あたり電力消費量 = 3,120kWh/年 島根県再生可能エネルギー及び省エネルギーの推進に関する基本計画 採用値

※【参考】R2.1 世帯数 島根県292,134、松江市90,351

指標	H28～R1 平均	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
		再生可能エネルギーを利用した発電による CO ₂ 削減量 (トン)	81,775	97,900	94,700	73,400	61,100	99,400	124,500	124,500	124,500
	89,580	109,487	114,510	77,881	56,438	73,500	78,000	78,200	96,900	98,700	98,700
(水力発電)	70,700	64,900	44,200	31,900	70,200	95,300	95,300	95,300	95,300	94,000	94,900
85,282	83,749	49,653	29,228	45,300	56,100	56,300	75,000	76,800	76,800		
(風力発電)	24,200	24,200	23,600	23,600	23,600	23,600	23,600	23,600	22,100	21,700	
20,984	24,982	21,808	20,700	22,000	17,300	17,300	17,300	17,300	17,300		
(太陽光発電)	3,000	5,600	5,600	5,600	5,600	5,600	5,600	5,600	5,600	5,600	
3,221	5,779	6,420	6,510	6,200	4,600	4,600	4,600	4,600	4,600		

※H28～R7当初計画値(上段) 温室効果ガス排出量算定・報告・公表制度におけるCO₂排出係数 = 0.000706t-CO₂/kWh(H27.11.30公表値)

※R3～R7新計画値(下段) 温室効果ガス排出量算定・報告・公表制度におけるCO₂排出係数 = 0.000561t-CO₂/kWh

島根県再生可能エネルギー及び省エネルギーの推進に関する基本計画 採用値

指標	H28～R1 平均	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
		発電施設故障停止 (時間)	290	270	190	180	220	240	240	240	240
	78	41	7	45	2,568	220	220	220	220	240	240
(水力)	9,000	9,000	9,000	9,000	9,000	9,000	9,000	9,000	9,000	9,000	9,000
11,533	7,510	5,019	9,596	13,077	9,000	9,000	9,000	9,000	9,000		
(風力)	190	250	250	250	250	250	250	250	250	250	
0	0	0	0	0	0	250	250	250	250		
(太陽光)											

2. 工業用水道事業

【目指す方向】

地域の産業を支える重要なインフラの一つである工業用水を、安定して供給していきま
す。

【目標】

- 1 工業用水の安定供給
- 2 経営の改善

【行動計画】

① 施設の長寿命化 ……目標 1

- ・ 安定的な工業用水の供給のため、「施設管理基本計画」及び「中期事業計画」に基づき、施設の点検や修繕・更新を計画的に進め、長寿命化や耐震化を図ります。

② 施設の適切な維持管理 ……目標 1

- ・ 日常点検や定期点検、必要な修繕の適切な実施により、異常の早期発見や事故・故障の防止、事故・故障発生時の迅速な復旧を図ります。

③ 新規需要の開拓 ……目標 2

- ・ 飯梨川工業用水道は、新規需要の開拓を図ります。
- ・ 江の川工業用水道は、供給先が江津地域拠点工業団地内の企業に限られることから、用水型企業の誘致に取り組みます。

④ 経費の縮減 ……目標 2

- ・ 継続して業務の見直しを行い、経費の縮減に取り組みます。

【取組の成果指標】

指 標		これまでの実績 (実績期間)				目 標 (達成年度)
		H28	H29	H30	R1	(毎年度)
給水制限日数 (日)	飯梨川	0	0	0	0	0
	江の川	0	0	1	0	0
		H28	H29	H30	R1	(R7)
売 水 率 (%)	飯梨川	59.0	58.6	58.6	57.6	60
	江の川	53.4	53.4	54.7	58.8	56
売水先の数 (社)	飯梨川	30	29	29	28	34
	江の川	3	3	3	4	4
		H28	H29	H30	R1	(R7)
送水管の耐震化延長 (m)	飯梨川	4,665	4,710	4,927	5,155	6,453
	江の川	6,649	6,649	6,649	6,649	6,649
送水管の耐震化率☆ (%)	飯梨川	20.8	20.8	20.8	20.8	31.5
	江の川	90.2	90.2	90.2	90.2	90.2

☆「送水管の耐震化率」とは
総管路延長の内、供用開始している耐震管の割合（耐震化工事により送水管の耐震化延長は延びているが、供用開始されるまでは耐震化率は変わらない）

		H28	H29	H30	R1	(R7)
一般管理費の縮減率 (%)	飯梨川	△ 4.3	△ 0.3	26.8	22.5	△ 10
	江の川	3.9	123.2	23.6	100.5	

3. 水道事業

【目指す方向】

県民生活に不可欠である安全で良質な水道用水を、安定して供給していきます。

【目標】

- 1 水道用水の安定供給
- 2 安全で良質な水質の維持
- 3 健全経営の確保
- 4 給水量減少への対応

【行動計画】

① 施設の長寿命化 ……目標 1、目標 4

- ・ 安全な水道用水を安定的に供給するため、「施設管理基本計画」及び「中期事業計画」に基づき、施設の点検や修繕・更新を計画的に進め、長寿命化や耐震化を図ります。

② 施設の適切な維持管理 ……目標 1

- ・ 日常点検や定期点検、必要な修繕の適切な実施により、異常の早期発見や事故・故障の防止、事故・故障発生時の迅速な復旧を図ります。

③ 適切な水質の検査・監視と運転管理 ……目標 2

- ・ 水質検査や監視、管理を適切に行うとともに、緩速ろ過池の管理や薬品注入量の調整を細やかに行うことにより、安全で良質な水道用水の安定供給を継続します。

④ 水安全計画☆の策定と実践 ……目標 2

- ・ 安全で良質な水道用水の供給を継続していくため、「水安全計画」に基づき水質管理の充実を図ります。

☆「水安全計画」とは

水源から末端の受水点に至るまでの過程で、水道用水の水質に問題を生じさせる原因を把握し、それについて適切な対策を準備することにより、これまで以上に安全で良質な水道用水の供給を行おうとするもので、国が策定を推奨しています。

⑤ 経費の縮減 ……目標 3

- ・ 継続して業務の見直しを行い、経費の縮減に取り組みます。

⑥ 水道法改正への対応 ……目標 1、目標 3、目標 4

- ・ 水道事業の基盤強化及び広域連携の推進について、「水道広域化推進プラン」の策定にあたって関係機関と連携していきます。
- ・ 適切な資産管理の推進について、令和 2 年度中に水道施設台帳を整備します。
- ・ 官民連携の推進について、民間活力の活用手法等、必要な情報の収集、研究を行っていきます。

【取組の成果指標】

指 標		これまでの実績 (実績期間)				目 標 (達成年度)
		H28	H29	H30	R1	(毎年度)
給水制限日数 (日)	飯梨川	0	0	0	0	0
	斐伊川	0	0	0	0	
	江の川	0	0	0	0	
		H28	H29	H30	R1	(毎年度)
水質目標値を達成しなかった日数 (日)		0	0	0	0	0
浄水池濁度 (0.1度以下)	飯梨川	0	0	0	0	
	斐伊川	0	0	0	0	
	江の川	0	0	0	0	
浄水池色度 (2度以下)	飯梨川	0	0	0	0	
	斐伊川	0	0	1	0	
	江の川	0	0	0	0	
末端残留塩素濃度 (0.1~0.5mg/L)	飯梨川	0	0	0	0	
	斐伊川	0	0	0	0	
	江の川	0	0	0	0	
		H28	H29	H30	R1	(R7)
送水管の耐震化延長 (未供用区間を含む) (m)	飯梨川	5,048	5,048	5,048	5,048	7,598
	斐伊川	89,060	89,060	89,060	89,060	89,060
	江の川	15,432	15,432	15,432	15,432	15,432
送水管の耐震化率 (%)	飯梨川	35.3	35.3	35.3	35.3	53.1
	斐伊川	81.8	81.8	81.8	81.8	81.8
	江の川	98.0	98.0	98.0	98.0	98.0
		H28	H29	H30	R1	(R7)
一般管理費の縮減率 (%)	飯梨川	△ 8.1	△ 3.7	△ 2.3	△ 11.6	△ 10
	斐伊川	△ 13.8	△ 25.3	△ 26.7	△ 28.4	
	江の川	△ 12.7	△ 12.3	△ 24.6	△ 12.4	

※水道法に基づく水質基準等

- ・濁度：2度以下
- ・色度：5度以下
- ・残留塩素濃度：0.1mg/L以上

4. 宅地造成事業

【目指す方向】

県内の産業を振興し雇用の場を確保するため、企業誘致により工業団地の分譲を促進していきます。

【目標】

1 工業団地の分譲促進

【行動計画】

① 工業団地の分譲 ……目標 1

- ・ 江津地域拠点工業団地は、第2期造成によって造成済用地のストックが増えることから、これまで以上に地元市や県関係部局、関係団体等と連携し、分譲を進めます。

② 江津地域拠点工業団地の造成検討 ……目標 1

- ・ 新規分譲の動向を踏まえ、未造成地の着手について関係部局とともに検討を進めます。

③ 進出企業との情報交換 ……目標 1

- ・ 進出企業のニーズを的確に把握するため、情報交換会を定期的を開催します。

④ 県・市町村共同工業団地整備事業への対応 ……目標 1

- ・ 事業を所管する県商工労働部及び対象となる市町村と連携して整備に取り組みます。

【取組の成果指標】

指 標		これまでの実績 (実績期間)				目 標 (達成年度)
		H28	H29	H30	R1	R7
分 譲 率 (%)	江島	96.5	96.5	100.0	100.0	100
	江津地域拠点	80.4	81.5	86.2	81.1	87
分譲面積【H28からの累計】 (㎡)	江島	7,846	7,846	16,184	16,184	—
	江津地域拠点	0	11,579	24,590	24,590	84,590
工業団地整備面積 (㎡)		31,164	31,164	31,164	45,464	98,464

※江津地域拠点工業団地のR1時点での分譲面積累計194,486㎡、完成分譲地面積累計239,950㎡に対する分譲率81.1%

5. 個別取組

危機管理体制の強化や県民理解の促進など、各事業に属さない事柄や共通する事柄についても取り組みます。

【目標】

- 1 危機管理体制の強化
- 2 技術力の継承と人材の育成
- 3 県民理解の促進
- 4 地域社会への貢献

【行動計画】

① 危機管理体制の強化・・・目標1

- ・様々なケースを想定した危機管理訓練の実施と検証作業を積み重ね、迅速かつ的確な対応が可能な組織を目指します。
- ・県関係部局や関係市等との合同危機管理訓練を毎年継続して実施し、緊急用資機材の融通などの相互応援も含めて、事故や災害時の連携強化を図ります。

② 技術力の継承・・・目標2

- ・現場での作業を通じた訓練や職場研修会を継続して実施し、技術・技能などの継承を図ります。
- ・過去に行った改良や故障時等における技術的な検討や対応内容等について、統一した様式で再整理することにより情報の共有化を容易にし、技術力の継承に繋がります。

③ 人材育成の取組・・・目標2

- ・技術的知識や業務経験を備えた人材の育成を図るため、技術講習等へ職員を参加させ、業務に必要な資格を取得させます。
- ・先輩職員が後輩職員に対して日々の業務のアドバイスや精神的なサポートをするメンター制度を実施し若手職員の育成を行います。

④ わかりやすい情報発信・・・目標3

- ・各事業の実績や経営状況、施設見学や森づくり事業などの取組内容等について、ホームページやSNSなどを通じて情報提供を行い、企業局の事業について県民の理解を深めます。
- ・経営状況等の掲示内容は、わかりやすい表現を工夫するとともに、適宜更新します。

⑤ 施設見学・出前講座の充実・・・目標3

- ・企業局が行っている各事業についての理解を深めていただくため、施設見学会や出前講座を継続して行い、内容の充実も図ります。
- ・施設見学については、小学校高学年を対象としたメニューを設けるなど、ふるさと学習事業としての取組も充実させます。

⑥ 施設周辺地域への対応・・・目標3

- ・新たな施設の建設や大規模な工事を行う際は、周辺への影響を調査し、必要な対策や地元への説明を行うとともに、新たな環境基準などが示されれば、地元説明も含めて適切に対応します。

⑦ 森づくり事業の実施・・・目標4

- ・森林が持つ水源涵養機能を高めるとともに、県民の意識醸成や参加の場を設けることを目的として実施している森づくり事業について、今後もNPOとの協働により、地域のボランティア団体や学校等とも連携した取組を行います。

⑧ 地域活動への参加・・・目標4

- ・道路、河川、公園などの公共施設をきれいにし、大切にすることを継続して行うとともに、地域で開催されるイベント等へ積極的に参加し、企業局が行っている事業への理解を深めていきます。

【取組の成果指標】

指 標	これまでの実績 (実績期間)				目 標 (達成年度)	
	H28	H29	H30	R1		
					(毎年度)	
危機管理訓練の回数 (回)	7	8	10	8	8	
	H28	H29	H30	R1	累計	(R7)
業務に係る技術資格の取得数 (件)	7	13	30	31	81	80
	H28	H29	H30	R1	(毎年度)	
ホームページアクセス数 (件)	12,341	16,808	16,165	15,954	15,000	
	H28	H29	H30	R1	(毎年度)	
施設見学・出前講座の参加者数 (人)	1,564	1,257	1,257	1,887	1,600	
	H28	H29	H30	R1	(毎年度)	
森づくり事業(植栽)箇所数 (箇所)	6	4	5	5	5	
	H28	H29	H30	R1	(毎年度)	
地域活動への参加件数 (件)	19	13	21	18	18	

第4 計画の推進体制

1. 計画の進行管理

毎年度の取組実績について内部評価を行うとともに、外部有識者を構成員とする経営計画評価委員会から意見や助言を伺いながら計画を着実に進めます。

2. 計画達成状況の公表

企業局の経営状況や、経営計画評価委員会での計画達成状況の評価等について、企業局ホームページを活用して積極的に情報を開示します。

第5 投資・財政計画

1. 電気事業

電気事業は、水力発電所リニューアルを積極的に進めています。リニューアルに伴い、発電停止による電力料収入の減少に加え、撤去費用の増加もあり、令和元年度と2年度は収益的収支が赤字になります。

しかし、リニューアルのピークが過ぎる令和3年度以降は、FIT制度適用による売電単価のアップなど収益構造の大幅な改善が見込まれ、収支は黒字に転換する見込みです。

【投資計画】

(1) 建設改良費

(単位：百万円)

区分	年度	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	合計
水力		1,313	619	1,697	4,700	5,526	1,981	1,694	883	18	4	18,435
	リニューアル	988	379	1,004	3,509	4,499	1,749	1,428	830	0	0	14,386
	小水力	107	104	517	666	491	0	0	0	0	0	1,885
	一般	218	136	176	525	536	232	266	53	18	4	2,164
風力		15	0	0	0	0	0	0	0	0	0	15
太陽光		1,200	211	0	0	0	0	0	0	0	0	1,411
計		2,528	830	1,697	4,700	5,526	1,981	1,694	883	18	4	19,861

【財政計画】

(1) 収益的収支

(単位：百万円)

区分	年度	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
電気事業収益		2,413	2,931	2,171	1,954	2,449	3,467	3,468	4,291	4,333	4,372
電気事業費用		2,168	2,221	2,092	2,739	3,078	2,440	2,582	2,719	2,716	2,650
純損益		245	710	79	△ 785	△ 629	1,027	886	1,572	1,617	1,721

(2) 資本的収支

(単位：百万円)

区分	年度	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
資本的収入計		2,468	817	1,566	4,296	4,957	1,767	1,695	888	5	5
資本的支出計		3,198	1,331	2,280	5,701	6,943	3,300	3,076	2,145	1,205	1,185
収支不足額		730	514	714	1,405	1,986	1,533	1,381	1,257	1,200	1,180

(3) 資産・負債・資本

(単位：百万円)

区分	年度	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
固定資産		12,930	12,813	13,812	17,693	22,156	23,127	23,719	23,479	22,376	21,277
流動資産		4,245	4,989	5,638	3,711	1,806	2,420	3,086	4,515	5,895	7,411
資産合計		17,175	17,802	19,450	21,404	23,962	25,547	26,805	27,994	28,271	28,688
固定負債		7,046	7,412	8,335	11,722	15,579	16,269	16,795	16,513	15,286	14,091
流動負債		1,301	1,090	1,940	1,471	1,061	1,145	1,206	1,217	1,213	1,211
繰延収益		1,787	1,625	1,498	1,366	1,207	1,091	976	864	755	648
負債合計		10,134	10,127	11,773	14,559	17,847	18,505	18,977	18,594	17,254	15,950
資本金		5,955	6,178	6,313	6,313	6,313	6,313	6,313	6,313	6,313	6,313
剰余金		1,086	1,497	1,364	532	△ 198	729	1,515	3,087	4,704	6,425
資本合計		7,041	7,675	7,677	6,845	6,115	7,042	7,828	9,400	11,017	12,738
負債+資本		17,175	17,802	19,450	21,404	23,962	25,547	26,805	27,994	28,271	28,688

2. 工業用水道事業

令和元年度までに策定した「施設管理基本計画」及び「中期事業計画」に基づき、適切な施設の点検や修繕・更新を計画的に進め、施設の長寿命化や耐震化を図ります。

今後の経営見通しとしては、施設の耐震化工事等の実施により費用が増加することから、収支の悪化が見込まれます。

このため新規需要の開拓による収益の増加やコスト縮減など、経営構造の改善に取り組んでいく必要があります。

【投資計画】

(1) 建設改良費

(単位：百万円)

年度 区分	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	合計
飯梨川	70	72	65	187	338	102	231	37	44	93	1,240
江の川	146	20	94	40	9	14	2	50	2	2	380
計	215	93	159	227	347	116	233	87	46	96	1,620

【財政計画】

(1) 収益的収支

(単位：百万円)

年度 区分	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
工業用水道事業収益	203	201	202	206	217	209	206	209	209	209
工業用水道事業費用	158	166	188	197	221	220	221	314	248	219
純損益	44	35	13	9	△ 3	△ 11	△ 15	△ 104	△ 39	△ 11

(2) 資本的収支

(単位：百万円)

年度 区分	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
資本的収入計	211	99	163	240	374	139	233	100	63	111
資本的支出計	282	157	215	290	418	183	297	150	110	163
収支不足額	71	58	52	50	44	57	64	50	47	52

※収支不足額については、損益勘定留保資金等により財源補填を行う

(3) 資産・負債・資本

(単位：百万円)

年度 区分	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
固定資産	2,027	2,046	2,127	2,254	2,496	2,526	2,657	2,654	2,612	2,613
流動資産	395	411	437	428	348	347	352	269	252	266
資産合計	2,422	2,457	2,565	2,682	2,844	2,873	3,009	2,923	2,864	2,879
固定負債	2,659	2,697	2,792	2,910	3,166	3,229	3,398	3,435	3,430	3,472
流動負債	159	139	157	138	66	63	64	64	67	69
繰延収益	530	511	493	502	483	463	444	426	408	389
負債合計	3,348	3,347	3,442	3,550	3,715	3,755	3,906	3,925	3,905	3,931
資本金	398	398	398	398	398	398	398	398	398	398
剰余金	△ 1,324	△ 1,289	△ 1,275	△ 1,266	△ 1,269	△ 1,281	△ 1,295	△ 1,400	△ 1,439	△ 1,449
資本合計	△ 926	△ 891	△ 877	△ 868	△ 871	△ 883	△ 897	△ 1,002	△ 1,041	△ 1,051
負債+資本	2,422	2,457	2,565	2,682	2,844	2,873	3,009	2,923	2,864	2,879

3. 水道事業

飯梨川・江の川水道施設については、令和元年度までに策定した「施設管理基本計画」及び「中期事業計画」に基づき、施設の点検や修繕・更新を計画的に進め、長寿命化や耐震化を図ります。

今後の経営見通しとしては、施設の耐震化工事等を実施するため費用は増加しますが、コスト削減努力を行うとともに適切な料金収入により収支を均衡させていきます。

【投資計画】

(1) 建設改良費

(単位：百万円)

区分 \ 年度	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	合計
飯梨川	15	25	35	47	50	265	474	646	460	407	2,424
斐伊川	5	18	26	16	76	25	56	68	46	61	397
江の川	158	16	268	137	23	44	81	172	22	58	979
計	178	59	328	199	150	334	611	886	528	525	3,799

【財政計画】

(1) 収益的収支

(単位：百万円)

区分 \ 年度	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
水道事業収益	2,112	1,970	1,954	1,972	1,972	1,921	1,913	1,948	1,956	1,951
水道事業費用	1,950	1,855	1,919	1,905	2,106	2,066	1,888	1,943	1,950	1,945
純損益	162	115	35	67	△ 134	△ 145	25	5	5	5

(2) 資本的収支

(単位：百万円)

区分 \ 年度	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
資本的収入計	153	19	235	156	53	203	359	544	293	297
資本的支出計	884	775	1,057	941	809	999	1,278	1,569	1,234	1,231
収支不足額	731	757	822	785	756	796	920	1,025	941	935

(3) 資産・負債・資本

(単位：百万円)

区分 \ 年度	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
固定資産	37,907	36,865	36,066	35,109	34,135	33,342	32,823	32,554	31,962	31,335
流動資産	1,813	1,957	2,186	2,150	1,780	1,636	1,567	1,397	1,276	1,194
資産合計	39,720	38,822	38,252	37,259	35,915	34,978	34,390	33,951	33,238	32,530
固定負債	9,851	9,108	8,646	8,038	7,430	6,947	6,622	6,460	6,047	5,632
流動負債	853	902	1,079	944	660	667	683	707	706	712
繰延収益	11,761	11,441	11,121	10,801	10,482	10,166	9,861	9,556	9,252	8,947
負債合計	22,465	21,452	20,847	19,782	18,571	17,780	17,166	16,723	16,005	15,291
資本金	17,483	17,483	17,483	17,488	17,488	17,488	17,488	17,488	17,488	17,488
剰余金	△ 229	△ 114	△ 78	△ 11	△ 145	△ 290	△ 265	△ 260	△ 254	△ 249
資本合計	17,255	17,370	17,405	17,477	17,343	17,198	17,223	17,228	17,234	17,239
負債+資本	39,720	38,822	38,252	37,259	35,915	34,978	34,390	33,951	33,238	32,530

4. 宅地造成事業

江津地域拠点工業団地は、第2期造成によって造成済用地のストックが増えることから、引き続き分譲促進に取り組みます。

今後の経営見通しとしては、江津地域拠点工業団地の分譲地の増加に伴う資産減耗費の増加によって、令和2年度は大幅な赤字となる見込みですが、令和3年度以降は年間1万㎡の分譲目標を反映しており、これが実現すると収支は黒字となる見込みです。

なお、県・市町村共同工業団地整備事業については、現時点で整備計画が未定のため、投資計画に含めていません。

【投資計画】

(1) 建設改良費

(単位：百万円)

区分 \ 年度	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	合計
江島	0	10	0	—	—	—	—	—	—	—	10
江津地域拠点	13	170	207	87	1,230	10	0	0	0	0	1,717
	13	180	207	87	1,230	10	0	0	0	0	1,727

【財政計画】

(1) 収益的収支

(単位：百万円)

区分 \ 年度	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
宅地造成事業収益	123	189	243	35	363	620	572	524	476	427
宅地造成事業費用	122	194	201	49	655	576	510	462	413	365
純損益	1	△ 5	42	△ 14	△ 292	44	62	62	62	62

(2) 資本的収支

(単位：百万円)

区分 \ 年度	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
資本的収入計	0	0	189	70	1,265	175	159	159	159	159
資本的支出計	11	180	207	87	1,265	181	563	339	339	339
収支不足額	11	180	20	17	0	6	404	180	180	180

(3) 資産・負債・資本

(単位：百万円)

区分 \ 年度	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
固定資産	37	37	115	106	98	84	70	56	42	29
宅地造成	1,427	1,466	1,480	1,803	2,247	2,067	1,887	1,707	1,527	1,347
流動資産	237	205	449	98	745	1,378	1,006	1,081	1,157	1,233
資産合計	1,701	1,708	2,044	2,007	3,089	3,529	2,963	2,844	2,726	2,608
固定負債	1,376	1,375	1,573	1,635	2,864	2,868	2,463	2,283	2,103	1,923
流動負債	0	13	110	24	171	563	339	339	339	339
負債合計	1,376	1,388	1,683	1,660	3,035	3,431	2,802	2,622	2,442	2,262
資本金	304	304	304	304	304	304	304	304	304	304
剰余金	21	16	58	43	△ 249	△ 205	△ 143	△ 82	△ 19	43
資本合計	325	320	361	347	55	98	160	222	284	347
負債+資本	1,701	1,708	2,044	2,007	3,089	3,529	2,963	2,844	2,726	2,608

島根県企業局経営計画

令和3年3月
島根県企業局

〒690-8501 島根県殿町8番地
TEL 0852-22-5676 FAX 0852-22-5679

(公式ホームページ)

URL: <https://www.pref.shimane.lg.jp/kigyo/>

(公式PRサイト)

URL: <https://pr.eb-shimane.jp/>

